

2023 年 9 月 13 日

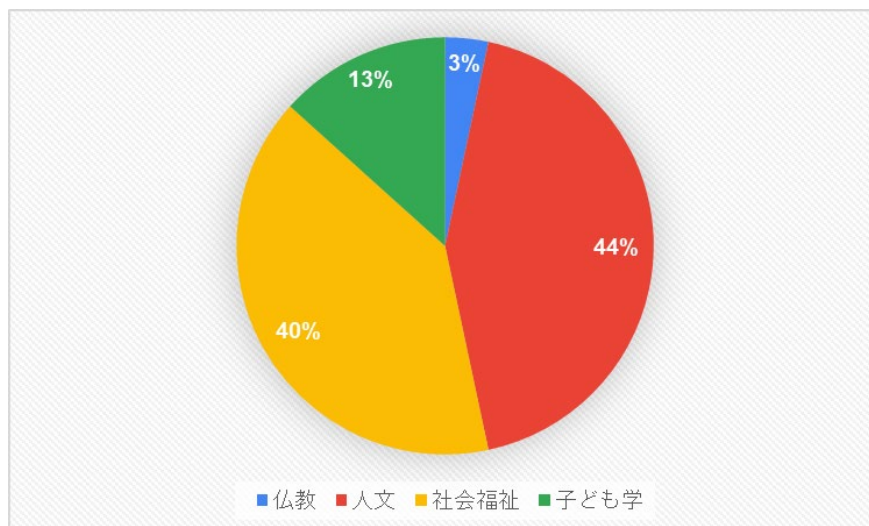
同朋大学 卒業後のアンケート調査について

同朋学園キャリア支援センター

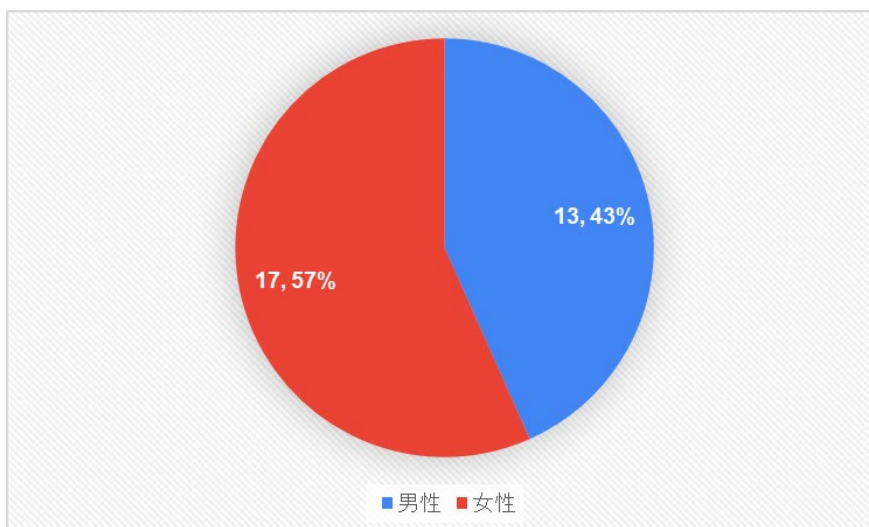
1. 目的:大学のキャリア支援、キャリア教育をさらに充実することを目的として実施
 2. 調査機関:2023 年 7 月 25 日～8 月 11 日
 3. 調査対象:2021 年度卒業生 218 名
 4. 調査方法:2021 年度卒業生に QR コード付きのアンケート依頼を送付
※アンケートの回答は WEB 上で入力
 5. 調査結果:以下の通り、卒業後の状況を把握
- ★アンケート発送人数 218 名 回答数 30 名(回答率 13.8%)※昨年度回答率 11.1%

【1】卒業後進路アンケート

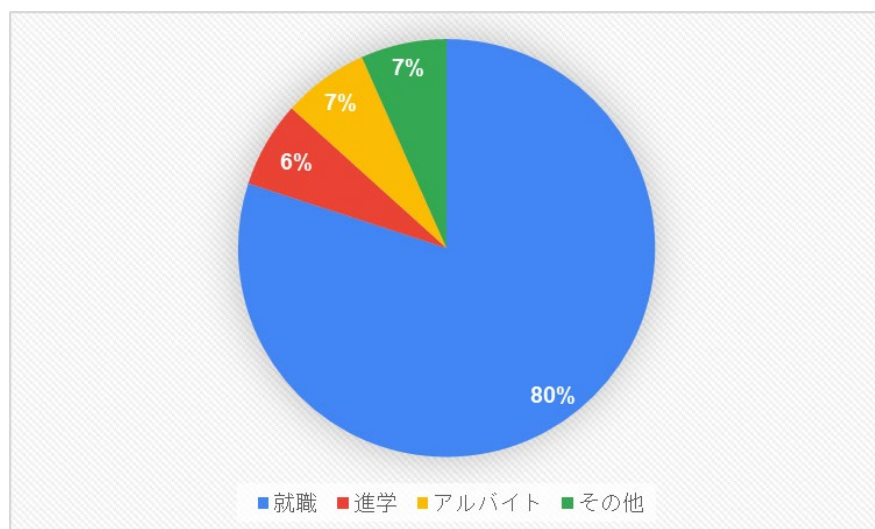
Q1. 卒業した学科・専攻 30 件の回答



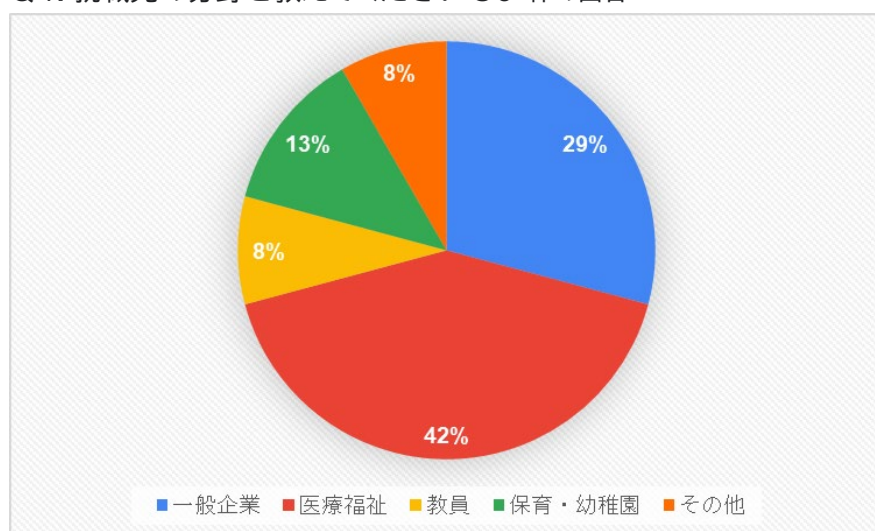
Q2. 性別 30 件の回答



Q3. 卒業後の進路についてお答えください 30 件の回答



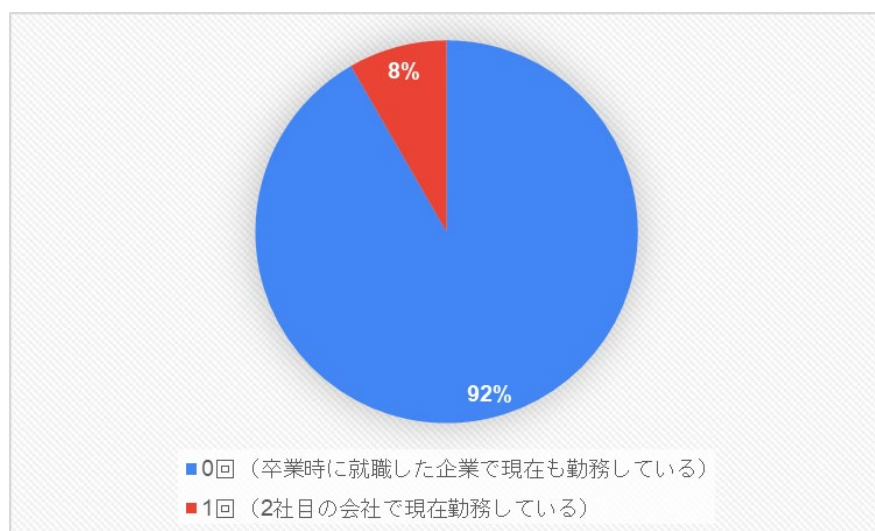
Q4. 就職先の分野を教えてください 30 件の回答



Q5. 就職先の名称を教えてください 18 件の回答

※就職先の名称については省略

Q6. 転職回数について教えてください 24 件の回答



2年以内での早期離職が全体の13%。大卒の全国平均とほぼ同率。

Q7. 転職理由について教えてください 2 件の回答

- 就職前の説明にあった雇用形態とのギャップ。
- 異動の回数が多かったから。

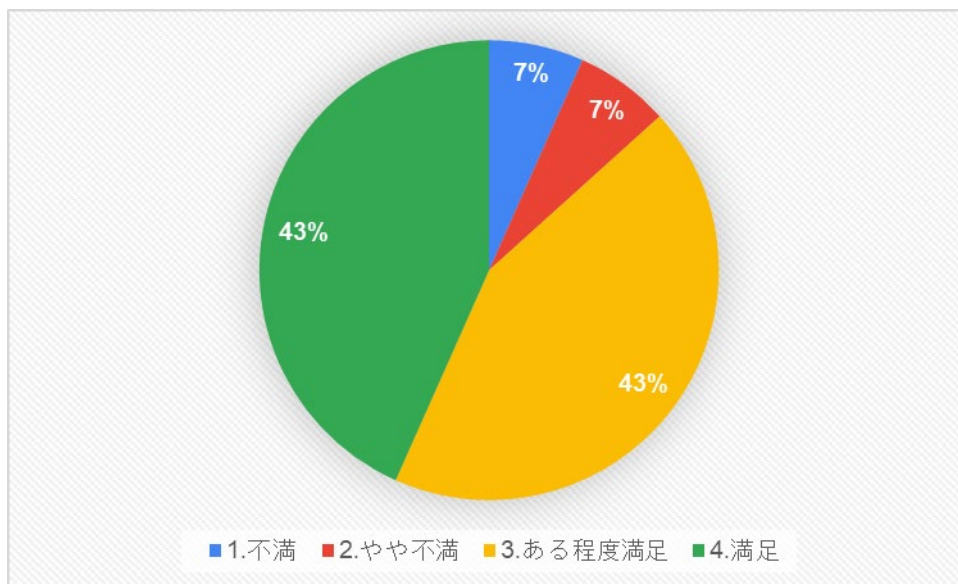
Q8. 転職先を可能な限り教えてください 2 件の回答

※転職先の名称については省略

進路の満足度について

現在の進路状況についてどの程度満足していますか

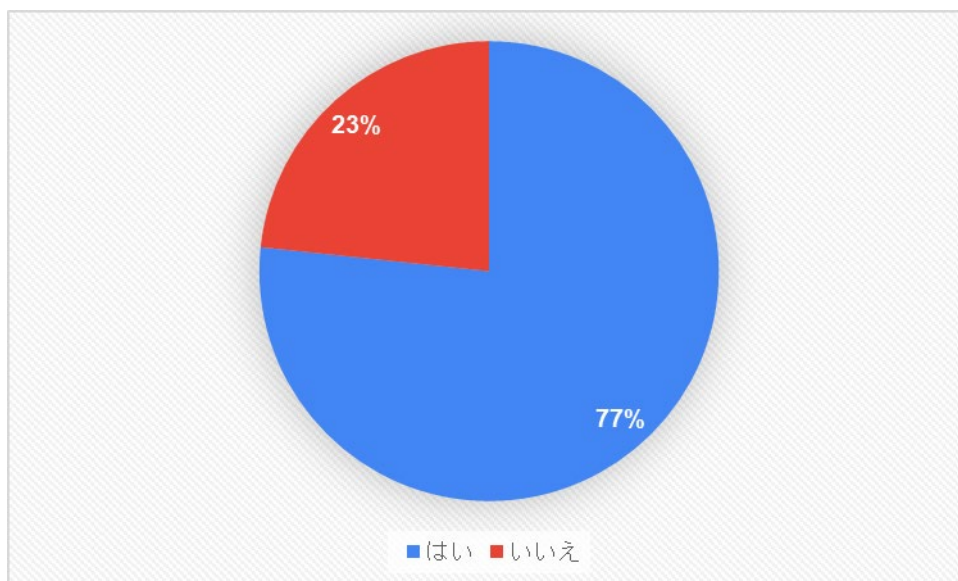
(1.不満 2.やや不満 3.ある程度満足している 4.満足している) 30件の回答



「満足」と「ある程度満足」の割合が 86%と高い数字となった。いかに「満足している」の割合を増やすかが課題。

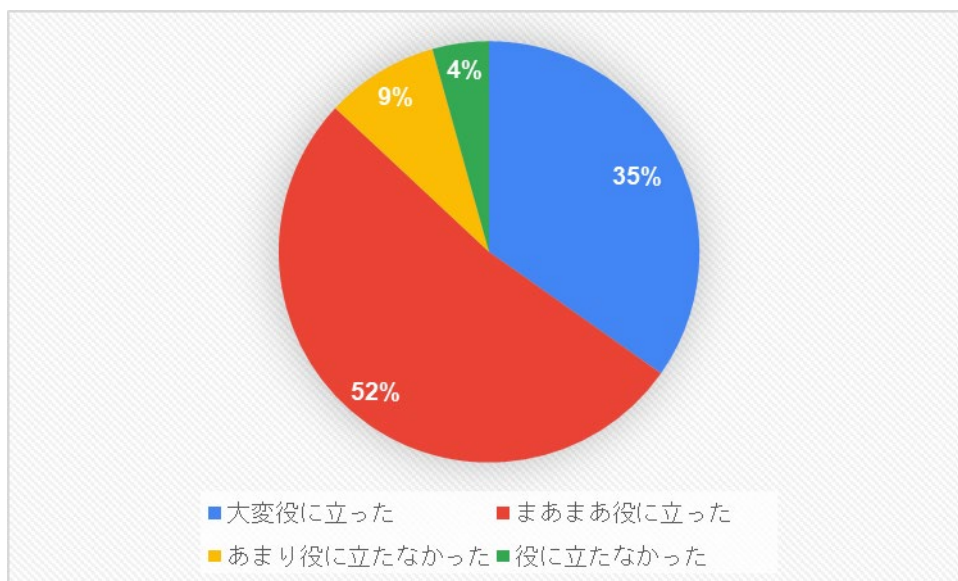
【2】キャリア支援センターについて

Q1. 在学中にキャリア支援センターを活用しましたか 30 件の回答



キャリア支援センターを活用した割合が 8 割近くとなり、前回数値よりも17ポイントUP している。コロナ禍の影響が少なくなってきたと感じられる結果となった。

Q2. はいと回答された方へ 23 件の回答



「あまり役に立たなかった」が 13%と前回よりも6%低い数字となった。また「大変役に立った」が 35%と前回よりも 16%高くなり、セミナーや面談等に注力した結果となった。

Q3. いいえと回答された方へ 理由を教えてください 7 件の回答

- 必要がなかったから・・・4 件
- 欲しい情報がなかったから・・・1 件
- 最初に行ったが、役に立たないと感じたから・・・1 件
- キャリア支援センターに入りにくかったから・・・1 件

Q4. 就職に関して在学中にあればよかった支援があればご記述ください

5 件の回答

- インターン等の早期の説明会
- もう少し卒業生と実際に話してどんな感じなのか知りたかった。
- 学内企業展の会社が同じような会社ばかりなのでもっと幅広い会社を見たかった。
- MSW の求人はハローワークや MSW 協会にも募集掲載されていないことが多く、自分で希望する地域の全病院ホームページを確認した。随時募集状況も変わるため、この辺りの支援があると助かると思います。
- 障害のある学生の情報を増やしてほしい。

要資格求人については資格取得大学に直接求人が来る場合が多く、本学では「求人検索 navi」を利用し、都度情報を流しているが、学生によっては情報を知らない学生がいると思われる。今後より情報発信を強化する。

Q5. その他、キャリア支援センターにご意見がございましたらご記述ください

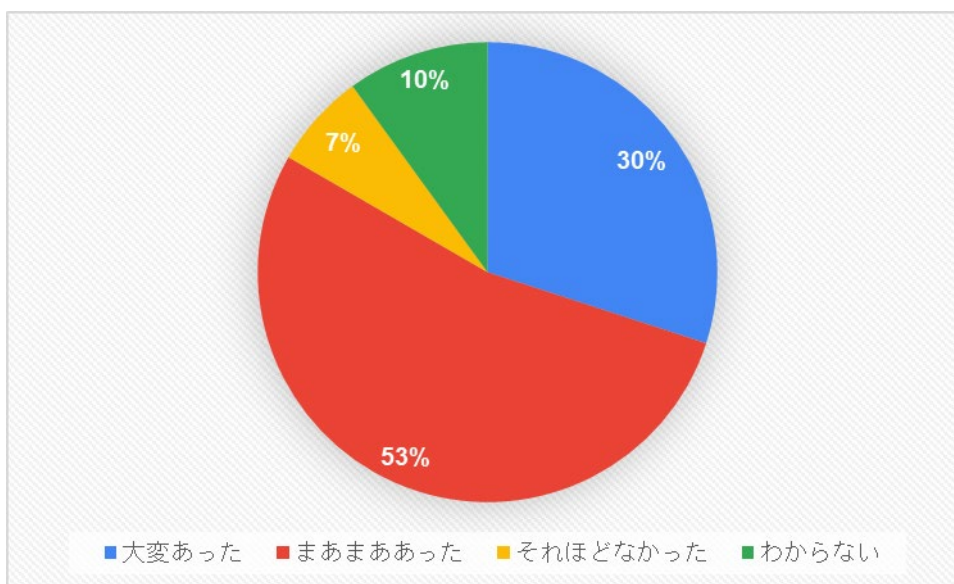
2 件の回答

- 大変お世話になりました。・・・1 件
- 暗くて入りにくかった。・・・1 件

「入りにくい」という意見は以前からもあったため、今年度よりデジタルサイネージの設置や、入り口付近の照明の照度を上げる、サインの設置などの工夫を実施している。

【3】同朋大学について

Q1. 同朋大学で役に立ったと思う学びはありましたか？ 30 件の回答



全体の83%が役に立ったと回答。具体的な内容は下記となるが、主に資格関係での回答が多く、本学が力を入れている点が評価されている。

Q2. Q1 の具体的な理由・内容を教えてください。16 件の回答

- 真宗大谷派教師課程
- 基礎的な介護を学べたから
- 学びというか、人との出会いですかね。私は名古屋大谷高校卒、同朋大学へ入学、約7年間を真宗大谷派の学校で学びました。退職された服部仁先生には本当に良くしてもらい、たくさんのことを学びました。高校の担任だった先生が同朋大学の教授も兼任しておりその先生にもたくさんのことを学びました。今でも相談しています。同朋大学で出会った先生、友達、みんな大好きです。
- ゼミでのレポート発表や他の発表の添削、自分の考えを言語化し、相手に伝える経験を得られました。
- 社会福祉は高齢とか大人向けのことが多くて今の仕事には特に役立ってない
- 手遊び、子どもの病気、読み聞かせ
- 働く上で認知症を理解した状態からスタートできる
- 日々がお勉強だと常に思っています。学生も社会人もそれは変わらないです。
- 一部の先生方のご指導は大変興味深いです。
- 介護技術を講義や実習で学べたこと、就職の際に手厚く相談にのっていただけたこと
- 実務となると分野で大きく変わるので、就職して 0 から学ぶ必要があるが、基礎的な知識があることでワーカーとしての考え方を作っていく手助けになっている部分もあるため。
- 先生との関係性。先生との距離が近いのはこの大学の良いところだと思う。
- 実習で言語化について実践できた
- 私自身が学びたいことや知らなかったこと、忘れたくないことをいただけた 4 年間だったから。

- 授業で初めて学んだ職種になりたいと思い、国試を頑張ってちゃんと就職できたから。
 - 資格取得するときに行った、実習などのグループで行った作業。
-

2023年度 企業調査報告書

例年、卒業生が在学時に進路決定届を提出した企業・法人へ在籍調査を行っていたが、今年度より過去採用実績のある企業・法人をピックアップしインタビュー及びアンケート調査を行った。

【目的】企業・法人の人事担当者から見た本学のキャリア教育の課題の抽出と、企業・法人が新卒採用に対し何に重きを置いているのかを判断し、今後の適切な学生指導へ活かすために行う。

【方法】企業・法人の人事担当者向けにインタビュー及びアンケート調査

【期間】2023年8月10日～8月31日

【対象】本学卒業生が在籍している小売業、サービス業（一般、福祉）、福祉法人、保育園

【対象企業・法人】

A	B	C	D	E
種別：一般企業 業種：流通／その他 (マネ・薬局・書籍等) 事業内容：ディスカウントドラッグストアを400店舗以上展開 資本金：10億円 従業員数：7606人	種別：一般企業 業種：サービス／その他 事業内容：人材の総合プロデュース、雇用開発、人材開発、事業開発 資本金：1000万円 従業員数：18800人	種別：一般企業 業種：サービス／福祉・福祉施設 事業内容：福祉の総合事業 資本金：39億2516万円 従業員数：23739人	種別：社会福祉法人 業種：サービス／福祉・福祉施設 事業内容：高齢者、障害者、児童等社会福祉施設の運営 資本金：1000万円 従業員数：1437人	種別：社会福祉法人 業種：サービス／福祉・福祉施設 事業内容：保育所の運営 資本金：なし 従業員数：49人

1. インターンシップについて

	A	B	C	D	E
実施の有無	有	有	有	有	有（希望により）
選考方法	WEB/対面の個別面接、グループディスカッション等	一次面接(対面もしくはオンライン)、二次面接(対面)	面接試験	先着希望順	面談
採用選考との関連	インターンシップ参加者には早期選考にご案内	無	無	無	インターンシップで、自園の職員集団といいチームワークで仕事ができそうか見させていた

2023年4月よりインターンシップでの情報を採用選考に利用することを認められた。が、5日間以上のものに限られるため、A社のような比較的規模の大きな企業はインターンシップ⇒早期選考という流れが出来上がっている。他4社はインターンシップが行われているが実際は1日～3日程度で終了するもので採用選考と直接関連付けるものではないとのことだった。

2. 本選考について

	A	B	C	D	E
2024 年度の採用計画及び採用予定職種	総合職 345 名採用予定	東海エリア 200 名	介護職 200 名	相談員及び介護員 人数未定	正規保育士 4 名 パート職員若干名
採用選考開始時期	年末から早期選考開始	基本 6 月 1 日より 選考実施	3 月より	3 月もしくは 4 月	採用説明会 8 月 2 回 採用試験 9 月 1 日
内々定連絡開始時期	1 月以降	内々定の設定なし (随時)	3 月より	4 月もしくは 5 月	採用試験実施後 1 週間以内
採用試験全般で重視する点	主体性、コミュニケーション能力、継続力	職種により就業条件が異なるため、適性と条件面	人間力。弊社でいう人間力とは、人間性＋行動力。	面接での人間性、意気込み等	チームワーク力
成績・資格・語学など	普通自動車免許、登録販売者資格(あれば。入社後に取得していただくことも可能)	必要資格特になし(訓練校運営しているため、活用しながら入社後に資格取得)	学部・学科問わず	必要な資格(相談員；社会福祉士受験資格、介護員；社会福祉士受験資格または介護福祉士取得見込)を取得見込であれば、特に重視しない。	保育士資格、幼稚園免許
エントリーシートの提出方法	紙媒体、電子データ (PDF 等含む)	紙媒体	電子データ (PDF 等含む)	紙媒体、電子データ (PDF 等含む)	電子データ (PDF 等含む)、その他 (電話)
試験内容	面接・グループディスカッション	面接、適性検査、筆記	グループディスカッション・個別面接	教養試験、適性検査、作文、面接	面接、保育実技(保育室に入って担任の保育士と一緒に保育)、ピアノ
グループワーク試験の有無	有	無	有	無	無
面接回数	2 回、学生さん自身の経験、価値観	基本 2 回実施、希望職種と条件面確認など	1 回(場合によっては複数回あり) 志望動機、自己 PR、逆質問	1 回	参加者全員で集団面接 様々なテーマで自由に考えを述べてもらう

●本選考に関して企業・法人側が最も気を遣うのは「転勤」ということであった。近年では総合職といえども「地域限定職」という形で転居を伴わない採用形態を多くするなどの配慮が見られるケースがあり、地元志向が顕著に表れているとのこと。

●採用選考の開始時期としては最も早いのが A 社の 3 年次年末。そのほかは 3 月以降順次。E 社は愛知県の申合せ事項により 9 月から開始することがルールとなっているため最も遅い選考開始となった。ただ、B・C・D 社に関して、例年同じ時期にて選考開始しているが毎年募集に苦戦しており、希望者がいればその都度説明会や選考を開催するとのことであった。

●採用試験全般で重視する点については、全てで「人間性」「コミュニケーション」の力がある学生を求めていることが伺える。本学の資格課程はもちろん企業においても人間関係の構築することが不可欠であるため、そういった能力のある人材が望まれている。

●採用試験においては企業（福祉系を除いて）2 回で、1 回目が人事担当との面接 1 回、2 回目は役員（エリアマネージャー等）との面接となっている。法人の 1 回は役職者との面接が多かった。

3. 昨今の学生の印象と本学学生へ求めること

	A	B	C	D	E
本学学生も含めた昨今の応募学生の印象	大人しい学生が多い印象	コミュニケーション力不足、就業意識の低下	人との関わりを大切にされている方が多い印象	真面目な学生が多い一方、控えめな学生が多い。	バイタリティ不足、自主的に動けていない人が多い
本学学生へ求めること、得ておいてほしいスキル等	コミュニケーション能力、接客スキル	コミュニケーション力、継続力	課題解決力	様々な福祉分野の体験。学校の講義だけでなく、実習等を含めた現場体験をたくさんしていただきたい。	自分の考えを述べること、社会人として最低限必要な適性

●全体的に良い意味でも悪い意味でも「大人しい」というキーワードが出てきている。今回挙げていた企業・法人もそうだが来校いただいた企業・法人の方も、同じような意見を言われることが多くある。コロナ禍でのコミュニケーションの断絶やスマートフォン等のツールの発達による「対面スキル」の弱さが企業としては採用後の業務に支障が出る場面（トラブル）があるのではないかと、またそれがきっかけに退職してしまう恐れがあることを危惧していた。

●本学学生に求めることは大まかにいって「コミュニケーション能力」と考えられる。どんな業種・職種においてもお互いの信頼関係は必須であり、その信頼関係を構築するためにはコミュニケーション能力が必要である。このコミュニケーション能力を向上させるためには「人と話すこと」だけでなく、その人に合わせた「知識」「教養」を持つことが重要であり、そこを根底としたコミュニケーション能力が課題解決力や社会人基礎力の醸成に繋がっていくと考えられる。大学の各学部の専門的な学びのほかに、キャリア科目、キャリア支援センターのセミナー等を通じて様々な教養（知識）を身に付け、それを使いこなす方をキャリア支援センターとして伝えていきたい。